

コトバと文字と文化

島根県教育委員会教育長

ふじはら よしみつ
藤原 義光

人類を人類たらしめた最も重要な発明・発見は何かについては、よく論じられている。その際に、「火」や「道具」とともに必ずあげられるのが「コトバ」である。この三つはそれぞれ人類の進歩に密接に関連があるので、どれかひとつが重要ということではないといえよう。このうち「コトバ」を今回のテーマとしたい。

コトバは人類が相互に情報を伝えあう手段であるばかりでなく、我々は思考したり記憶したりする時もコトバを使う。こうした伝達や記憶を時代や空間を超えて飛躍的に発展させるものとして、その後人類は「文字」と「印刷技術」を発明した。したがってコトバ、文字、印刷技術は同じ系譜にあるもので、文明や文化、すなわち精神生活を成立させる上で欠かすことはできないものである。

書物は勿論、このコトバ・文字・印刷技術という「コトバの三兄弟」によって成立し、読書は時空を超えた情報を受信することであり、また自らの思考や記憶などの活動を含めた知的精神的活動である。

こうした「読むことによる文字の知覚、意味の理解、思考、記憶」などの一連の精神活動が、我々の脳神経を中枢とする生化学反応によって司られていることは、まさに生命の驚異である。

読書は人間の欲求のひとつである知的欲求（知識欲）を満足させる行為で、「なるほど」や「なんだ、そうだったのか」と知らないことを知った時に満たされる高度な精神活動の

ひとつであり、思想・哲学や芸術などは、受信者である読者を感動させ、行動の動機を与える。科学的な真理や技術的な方法の蓄積、継承、発展などにも不可欠である。人類はこうした力を文明・文化の原動力として、今日の世界を築いてきた。

また、読書の魅力のひとつに、読むことによる「疑似体験」がある。特に物語や紀行文・ドキュメントなどの分野でいえることである。恋愛小説を読み、自らが悲劇のヒーローと同化したり、冒険野郎とともに世界探検したりワクワクした気分を味わったりするのも読書ならではのことである。

受験勉強時代に、明日の日のことも思わずに明け方まで読み耽った本はどんな本だったのか、今は具体的には思い出せないが、青春期の精神形成には必要不可欠な元肥だった。活字を追うだけでその実、中身は全く理解できない癖に時代の空気でページをめくった学生時代の本。新たな発見や知見により「真実」が究明されていくことに知識欲を求めてきた生物学や進化論、宇宙論や古代史。

読書が持つ多面的機能についてはこのほか、テレビやパソコンが弱めるといわれ出した「脳力」を高めるトレーニングの効果が、情操力のアップにも役立つそうだ。

子どもの学力、生活習慣と読書の間には、相関度が高いこともわかっている。人格形成の多感な時期にタイムリーに良書を読み、豊かな心、人を思いやる心、感動する心を養っていただきたい。

10/27~11/9 第60回

島根県立図書館所蔵貴重資料展

と き 10月27日（金） 午後1時から
10月29日（日） 午後5時まで
ところ 島根県立図書館 集会室

島根県立図書館は明治6年（1873）の島根県布達により開設された松江書籍縦覧所を元とし、全国的にも早い時期から今日まで、長年にわたり資料の収集・保存・提供の機能を担ってきました。

この間に収集した資料には、江戸時代の藩主の所蔵資料「鷹・鷹狩り史料」「ハルマ蘭仏・仏蘭辞書」や藩校の所蔵資料等伝来の貴重な珍しい資料も多くあります。

その後も戦前・戦後の混乱期、高度成長期を経て、たくさんの方々のご協力・ご支援により今日まで受け継いできました。また、現在も散逸していく貴重な郷土の資料の収集・保存に努めています。

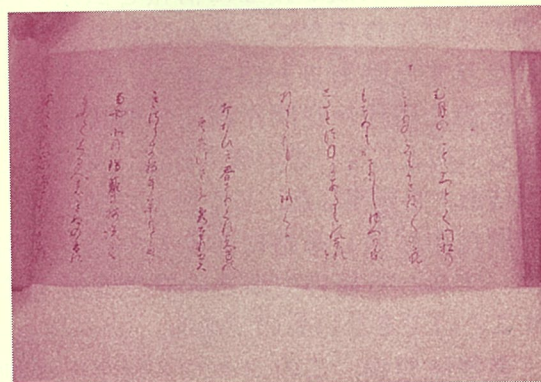
今回はこれら所蔵資料を展示し、ご紹介いたします。

『出雲国風土記』 写本類



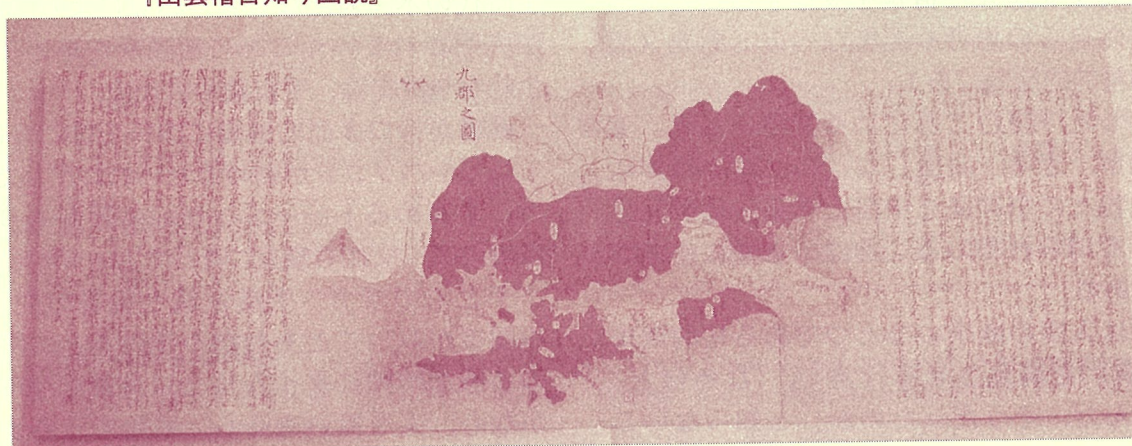
中島家旧蔵 文化14（1817）写
木村家旧蔵 天保8（1837）写

『養法院自筆和歌集』



松江藩2代藩主綱隆側室

『出雲稽古知今図説』



出雲の古代からの地理書。絵図入り。

読 書 週 間

図書館探検ツアー（大人版）を開催します。

県立図書館では約60万冊の図書のほか、戦前から現在までの新聞・雑誌や古文書・地図類などを保存しています。

これらの資料は、コンピュータによる目録を整備、資料室や書庫に正しく配列され、常に県民のみなさんに利用していただけるように準備がされています。

みなさんに日頃から利用していただいている資料室には、全体の4分の1程度の資料しか配架しておりません。

今回の探検ツアーでは4分の3の資料が眠る書庫へのご案内します。

開催日時：平成18年11月1日（水）《しまね教育の日》 午前11時～12時

11月4日（土） 午前11時～12時

（書庫を中心とした館内案内です。2回とも同じ内容です。）

集合場所：図書館1階 集会室前（自販機付近）

「読書体験記」を募集します

読書について日頃感じていること、思っていることなど、気軽に綴って応募してください。

内 容：☆本との出会いから感動したこと・感じたこと、家庭での読み聞かせのようすなど
（母親に限らず父親、祖父母の方の投稿も歓迎します）

☆その他、読書や図書館に関することなど

枚 数：400字詰め原稿用紙3枚以内（ワープロ等からの印刷も可）

応募資格：小・中・高生以外は、島根県在住の方に限ります。

応募方法：題名、氏名、年齢、住所と電話番号を記入した紙を原稿に貼付し、下記まで郵送またはご持参ください。

〒690-0873 松江市内中原町52 島根県立図書館内

島根県読書推進運動協議会 Tel. 0852-22-5729

締め切り：平成18年11月10日（金）

第60回 読書週間
〈標 語〉

しおりいらずの一気読み



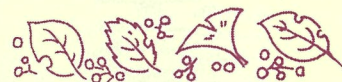
- ・応募作品の中から10編程度を入賞作品とし、図書カードを贈呈します。
- ・結果発表は2月上旬とし、入賞作品は機関紙『島根読進協』（平成19年2月発行）に掲載させていただきます。

ご注意ください!

10月から平日の開館時間が変わります。

火～金曜日
9時～18時

10月 行事予定



1 日	2 月 休館日	3 火	4 水 親子で絵本も読め会 15:00～15:30	5 木	6 金 出雲国風土記を 読め会 13:30～15:00	7 土 古文書も読め会 (近世初級) 10:00～11:30
8	9 休館日 体育の日	10 成人読書会 13:00～15:00	11 親子で絵本も読め会 15:00～15:30	12	13	14 お話の会 13:30～14:30
15 しまね文学散歩 10:00～12:00	16 休館日	17	18 親子で絵本も読め会 15:00～15:30	19	20	21 古文書も読め会 (中世) 10:00～11:30
22	23 休館日	24	25 親子で絵本も読め会 15:00～15:30	26	27 図書館所蔵貴重 資料展 13:00～18:00	28 図書館所蔵貴重資料展 9:00～17:00 子どもおたのしみ会 10:00～11:00
29 図書館所蔵貴重 資料展 9:00～17:00	30 休館日	31 月末休館日	10/27 文字活字文化の日			

11/1 しまね教育の日

11月



1 水 図書館探検ツアー 11:00～12:00 親子で絵本も読め会 15:00～15:30	2 木	3 金 休館日 文化の日	4 土 古文書も読め会 (近世初級) 10:00～11:30 図書館探検ツアー 11:00～12:00
5 日	6 月 休館日	7 火	8 親子で絵本も読め会 15:00～15:30
12	13 休館日	14 成人読書会 13:00～15:00	15 親子で絵本も読め会 15:00～15:30
19 しまね文学散歩 10:00～12:00	20 休館日	21	22 親子で絵本も読め会 15:00～15:30
26	27 休館日	28	29 親子で絵本も読め会 15:00～15:30
			30 月末休館日
			31 休館日



利用案内

- 休館日
毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたるとき
はその前日)
年末年始 12月28日～1月4日
図書整理休館(年2回、それぞれ10日間)

- 開館時間(子ども室の開室時間も同じ)
火曜日～金曜日 10月～3月 9時～18時
4月～9月 9時～19時
土曜日・日曜日 通 年 9時～17時

- 貸出
冊数…5冊以内
期間…15日

※高齢者、身障者の方は郵送による貸出、返却制度を利用できます。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。
ご寄贈、情報の提供をお願いします。

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/toshokan/>
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52
TEL 0852-22-5725 FAX 0852-22-5728
発行日 平成18年9月20日